

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



水陸両用作戦



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

【陸上作戦（協同基地等警備訓練）】

陸上自衛隊の部隊が各自衛隊基地、訓練場等に展開し、航空自衛隊との協同基地等警備訓練を実施します。生地には無線通信中継のみのために展開し、基地の内外を問わず実弾を使用した訓練はありません。

○期 間：令和7年10月20日（月）～10月31日（金）

※夜間訓練、空包使用及びドローン訓練を含みます。

○参加部隊：陸上自衛隊：陸上総隊（中特防、対特衛） 約120名

西部方面隊（第15旅団、CH×1、UH×1、第2特科団等） 約800名

北部方面隊（第5旅団） 約60名

航空自衛隊：南西航空方面隊（第9航空団、南西航空警戒管制団、南西高射群） 約80名

訓練予定場所



各基地、分屯基地、駐屯地毎、陸上自衛隊と航空自衛隊との協同による基地警備訓練を行います。

訓練イメージ



協同基地警備訓練



小型ドローンの飛行

沖縄県内(沖縄本島)で実施を検討している訓練内容 【陸上作戦(重要施設等防護(CBRN等対処))】

CBRN等事案が発生した場合を想定し、自衛隊基地・駐屯地内のCBRN対処(調整所の運営、汚染地域・装備品の検知・除染、衛生救護等)に係る訓練を行います。

なお、訓練間、武器は携行しますが、実弾・空包等は使用しない予定です。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金) ※ 前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：陸上総隊(中央特殊武器防護隊(50名)、対特殊武器衛生隊(40名))

西部方面隊(第15旅団隷下部隊、第2特科団隷下部隊)

航空自衛隊：南西航空方面隊(南西高射群)

訓練予定場所



訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容 【航空作戦(戦闘機部隊の機動展開訓練)】

航空自衛隊の戦闘機部隊等が、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、戦闘機が嘉手納飛行場に、一時的に展開する訓練を計画しています。また、嘉手納飛行場から離陸し、空域で訓練を行い、那覇基地への着陸を計画しています。

なお、嘉手納飛行場での訓練後は奄美・徳之島に移動して機動展開訓練を行います。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】航空自衛隊：南西航空方面隊、第9航空団

【参加人員】人員約60名

【使用装備品】F-15戦闘機×6機(最大)

【訓練場所】嘉手納飛行場

※ 訓練期間前後及び期間中、航空機整備のための器材輸送のため、所要の車両や整備器材の嘉手納飛行場までの運航を計画する可能性があります。



那覇基地



F-15

展開予定地

嘉手納飛行場全体図



- ①航空自衛隊那覇基地から訓練空域に進出し、訓練実施
- ②沖縄本島沖での訓練後、嘉手納飛行場に一時的に退避(戦闘機は離着陸訓練(最大6機))を想定した訓練を実施
- ③以降、嘉手納飛行場から離陸し、訓練を実施
- ④最終日は嘉手納飛行場を離陸後、訓練を実施し、那覇基地へ帰投

※期間中、1日1回～4回の訓練を計画しています。

なお、夜間訓練は計画致しません。

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容 【航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練)】

空自高射部隊が那覇基地へ機動展開し、器材の協同警備要領を含めた訓練、協同防空戦闘訓練を実施します。なお、訓練間、武器は携行しますが、実弾・空包等は使用しない予定です。

○期 間：令和7年10月20日～10月31日（内1日）

○参加部隊：高射教導群（浜松基地所属）

（人員26名、車両11台）

訓練の一例(イメージ)

機動展開訓練



訓練予定地



展開要領

PFI 船舶を使用して展開します。

【往路】

PFI 船舶「はくおう」蒲郡港～中城港

【復路】

PFI 船舶「ナッチャン」中城港～蒲郡港

※陸路は、公道を自走します。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容 【航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練)】

空自高射部隊が嘉手納飛行場へ機動展開し、器材の協同警備要領を含めた訓練、共同防空戦闘訓練を実施します。なお、訓練間、武器は携行しますが、実弾・空包等は使用しない予定です。

○期 間：令和7年10月20日～10月31日(内1日)

○参加部隊：南西高射群(人員約30名、車両約12台)、米陸軍(調整中)

訓練の一例(イメージ)

機動展開訓練



訓練予定地



沖縄県で実施を検討している訓練内容 【航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練)】

空自高射部隊が与座岳分屯基地へ機動展開し、展開先における警備要領を含めた訓練を実施します。なお、訓練間、武器は携行しますが、実弾・空包等は使用しない予定です。

- 期 間：令和7年10月20日～10月31日（内1日）
○参加部隊：第9航空団（人員約25名、車両約11台）

訓練の一例(イメージ)

機動展開訓練



訓練予定地



使用器材等



沖縄県で実施を検討している訓練内容 【航空作戦(滑走路被害復旧訓練)】

陸・空自衛隊の部隊が那覇基地に展開し、滑走路被害復旧訓練を実施します。
なお、爆破薬を使用した訓練は実施しません。

- 期 間：令和7年10月20日（月）～10月24日（金）
- 参加部隊：陸上自衛隊：第15施設隊約30名
航空自衛隊：9空団約45名、南西航空施設隊約30名、北部航空施設隊約25名
中部航空施設隊約25名
- 使用器材：車両、建設器材等×計約40両

訓練予定場所



訓練イメージ



○期 間：令和7年10月29日（水）～10月31日（金）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
○参加部隊：水陸機動団、第1空挺団、3即機連隊、6即機連隊、15即機連隊、42即機連隊、
第1ヘリ団（CH-47）（人員約30名）

Map of the Ryukyu Islands showing the locations of the Naha Garrison and the Naha Base. The map includes labels for Naha (那覇), Naha Garrison (那覇駐屯地), Naha Base (那覇基地), and Naha Garrison Base (那覇駐屯地及び那覇基地). It also shows the locations of Miyako Island (宮古島), Miyako Village (宮古村), and Naha Village (那覇村).

A large military helicopter, likely a Chinook, is shown in flight over a body of water. The helicopter is painted in camouflage and has a red circle marking on its side.

陸自：回転翼機CH-47（チヌーク）

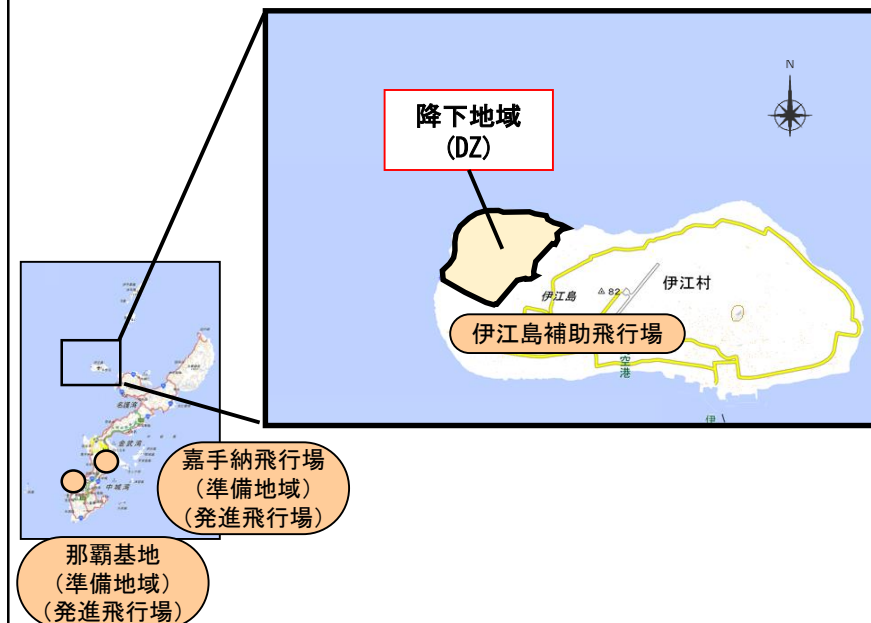
沖縄県内で実施を計画している訓練内容

【空挺作戦(自由降下訓練)】

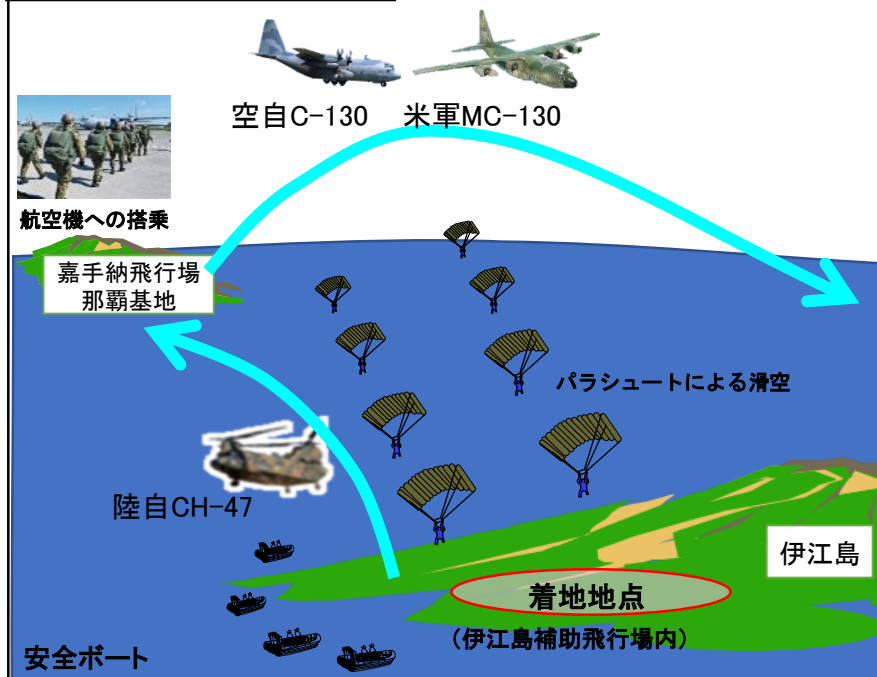
陸上自衛隊の部隊が嘉手納飛行場・空自那覇基地から飛来し、伊江島補助飛行場において航空自衛隊、陸上自衛隊及び米空軍の航空機から自由降下（昼間・夜間）を実施します。なお、訓練間、伊江島補助飛行場内において空包（昼間・夜間）を使用します。

- 期 間：令和7年10月27日（月）～10月30日（木）：自由降下訓練（自由降下員：約20名）
- 参加部隊：自衛隊：陸上総隊（約40名、車両5両程度、ボート5艇程度、CH-47）、
航空支援集団（C-130H）
- 米 軍：米空軍（約5名、MC-130）、米海軍（約5名）

訓練予定場所



訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容 【指揮所訓練】

陸自隊員が嘉手納飛行場へ展開し、連絡官として日米共同指揮所訓練等を実施します。

○期 間：令和7年10月20日（月）～10月31日（金）

○参加部隊：陸上自衛隊：陸上総隊 約20名

米 軍：米陸軍 約20名、米海軍 約20名、米空軍 約15名



嘉手納飛行場



指揮所開設

訓練イメージ



計画の作成



作戦会議

沖縄県内(沖大東島)で実施を検討している訓練内容 【対着上陸作戦(統合火力誘導訓練)】

陸上自衛隊回転翼機、海上自衛隊護衛艦、航空自衛隊航空機による射撃訓練を沖縄県の沖大東島で実施します。

- 期 間：令和7年10月29日(水)～31日(金) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
- 参加部隊：陸上自衛隊：西部方面隊回転翼機(AH-64D)×2機
第1ヘリ団回転翼機(CH-47)×1機
- 海上自衛隊：掃海隊群護衛艦(DD)×1隻、輸送艦(LST)×2隻、回転翼機×1機(SH-60)
- 航空自衛隊：航空総隊固定翼機(F-2)×2～4機、E-2(C)D×1機
航空支援集団空中給油機 KC-767×1
- 参加人員：陸上自衛隊：水陸機動団約50名

訓練予定場所

沖大東島

訓練イメージ



陸自：回転翼機(AH-64D)



空自：固定翼機(F-2)



海自：護衛艦(DD)



海自：回転翼機(SH-60)

全国で実施を検討している訓練内容 【統合後方運用(医療訓練)】

奄美大島において、傷病者の治療及び搬送並びに医療資材を航空機から投下する訓練を実施します。搬送先については、那覇基地にて計画をしています。

【期 間】 令和7年10月23日(木)～10月29日(水)

【参加部隊】 共同の部隊：統合作戦司令部

陸上自衛隊：陸上総隊、CH-47×2機

航空自衛隊：航空支援集団、C-130×1機

人員約30名

訓練予定場所

※医療訓練場所：太陽が丘総合運動公園又は龍郷町中央グラウンド又は名瀬総合運動公園

【調整中】

空自奄美大島分屯基地及び奄美駐屯地

投下場所：笠利崎灯台西側



- ・奄美大島において医療訓練を行い、那覇基地へ搬送する訓練を実施します。
- ・奄美大島に医療資材を航空機から投下する訓練を実施します。

訓練イメージ



傷病者治療



傷病者搬送



医療資材投下

全国で実施を検討している訓練内容 【統合後方運用(医療訓練)】

那覇基地内に医療施設を開設し、傷病者に対する治療訓練を実施します。

- 期 間：令和7年10月20日(月)～10月30日(木) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
- 参加部隊：共同の部隊等：統合作戦司令部、自衛隊中央病院
 - 陸上自衛隊：陸上総隊、東北方面隊、陸上自衛隊衛生学校、自衛隊那覇病院
 - 海上自衛隊：自衛艦隊
 - 航空自衛隊：航空総隊
- 人 員：約180名
- 実施地域：沖縄県

訓練予定場所



・開設した医療施設において、先島等から搬送された傷病者に対し治療訓練を実施します。

訓練イメージ



治療訓練

全国で実施を検討している訓練内容 【統合後方運用(医療訓練)】

那覇基地内に開設した医療施設から、本州または九州の自衛隊等の医療機関への傷病者の搬送訓練を実施します。

- 期 間：令和7年10月29日（水）～10月31日（金）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
- 参加部隊：共同の部隊等：統合作戦司令部
 - 陸上自衛隊：陸上総隊、自衛隊福岡病院、自衛隊中央病院
 - 海上自衛隊：自衛隊横須賀病院
 - 航空自衛隊：航空支援集団、自衛隊入間病院、C-2 人員約60名
- 実施地域：東京都、埼玉県、神奈川県、福岡県、沖縄県

訓練予定場所



・より高度な治療が必要な傷病者を本州または九州へ搬送する訓練を実施します。

訓練イメージ



患者搬送（救急車）



患者搬送（航空機）

沖縄県で実施を検討している訓練内容 【統合後方運用(物資輸送訓練)】

P F I 船舶で北海道から愛知県、大分県、鹿児島県を經由して、沖縄県（中城湾港、平良港、石垣港）まで部隊・装備品を輸送する訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月20日（月）～10月29日（水）

【参加部隊】陸上自衛隊：西部方面システム通信群

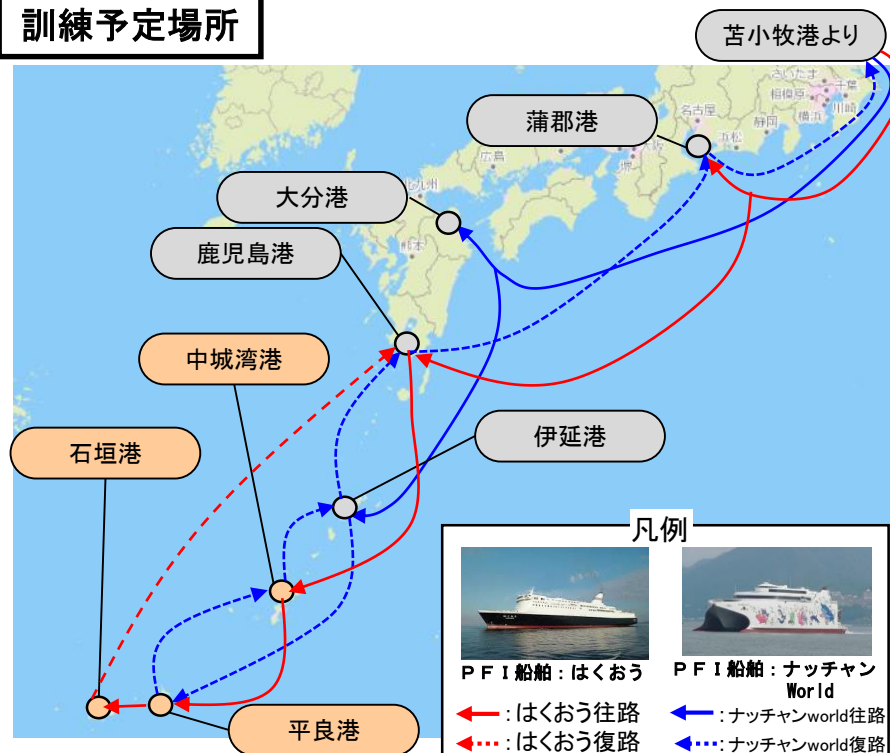
航空自衛隊：高射教導群、中部高射群、第2基地防空隊

【使用装備品】PAC3発射機（LS）、レーダー装置、燃料タンク車等

その他：P F I 船舶（はくおう及びナッチャンWorld）

【実施地域】中城湾港・平良港・石垣港（他北海道、愛知県、大分県・鹿児島県の港湾を使用予定）

訓練予定場所



訓練イメージ



PAC3発射機（LS）



レーダー装置（RS）



待機車1号



燃料タンク車

【PFI船舶：はくおう】

- ・中城湾港において、蒲郡港から乗船した空自部隊(高射教導群)を卸下します。発射機(LS)の卸下はありません。
- ・平良港において蒲郡港から乗船した空自部隊(中部高射群第15高射隊)を卸下します。発射機(LS)を卸下します。
- ・石垣港において鹿児島港から乗船した陸自部隊(西部方面システム通信群)を卸下します。発射機(LS)の卸下はありません。
- ・石垣港で卸下した陸自部隊を乗船させ、鹿児島港に帰港します。

【PFI船舶：ナッチャン】

- ・平良港においてはくおうから下船した空自部隊を乗船させます。
- ・中城湾港においてはくおうから下船した空自部隊を乗船させ和泊港、鹿児島港を經由し、蒲郡港へ帰港します。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

【統合電磁波作戦訓練】

統合電磁波作戦訓練は、四国沖訓練海空域等で実施される共同統合対艦戦闘訓練及び水陸両用作戦訓練に連携して行われます。

本訓練では、陸上自衛隊の電子戦部隊が、陸上自衛隊知念分屯地、陸上自衛隊宮古島駐屯地及び陸上自衛隊与那国駐屯地において、電波状況の確認等を実施します（早朝・夜間や土日を除く。）。

また、本訓練では実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

○期 間：令和7年10月21日（火）～10月29日（水）

○参加部隊：陸上自衛隊知念分屯地：約15名（所在部隊）
 （車両（NEWSを含む。）×3両）
 陸上自衛隊宮古島駐屯地：約15名（所在部隊）
 （車両（NEWSを含む。）×3両）
 陸上自衛隊与那国駐屯地：約15名（所在部隊）
 （車両（NEWSを含む。）×3両）

展開する主要装備品

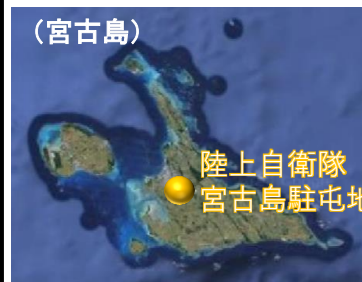
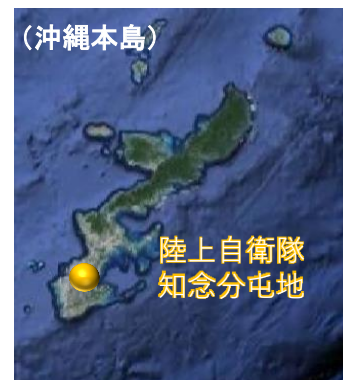


陸上自衛隊 NEWS※



※ NEWS: Network Electric warfare System
 （ネットワーク電子戦システム）
 電波の収集等を実施

訓練予定場所



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

【統合通信訓練】

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

本訓練のため、陸上自衛隊及び海上自衛隊の通信部隊が石垣島、宮古島及び与那国島に展開し、通信回線を構成いたします。

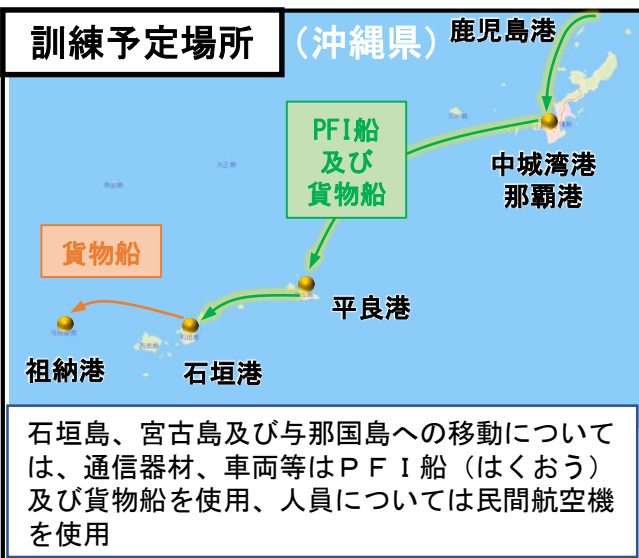
○期 間：令和7年10月24日（金）～10月31日（金）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

○参加部隊：陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約30名（車両：12両程度）
海上自衛隊 システム通信隊群 約15名（車両：5両程度）

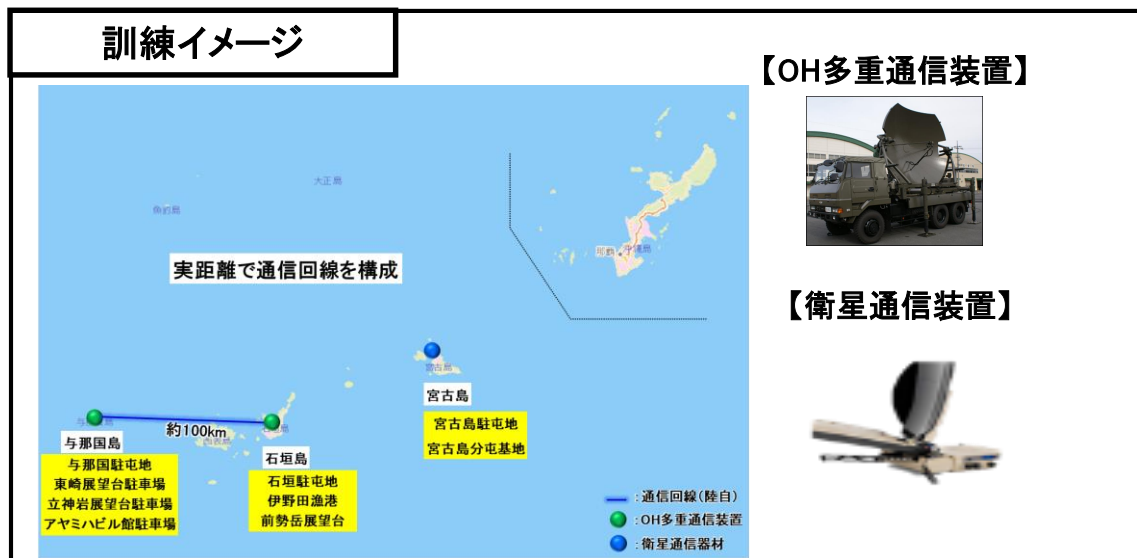
○実施場所：宮古島駐屯地、宮古島分屯基地、石垣駐屯地、与那国駐屯地、伊野田漁港、前勢岳展望台、東崎展望台駐車場、立神岩展望台駐車場、アヤマハビル館駐車場

訓練予定場所

（沖縄県）鹿兒島港



訓練イメージ



【OH多重通信装置】



【衛星通信装置】



宮古島で実施を検討している訓練内容

【統合通信訓練】

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。
本訓練のため、海上自衛隊の通信部隊が宮古島に展開し、通信回線を構成いたします。

○期 間: 令和7年10月31日(金) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

○参加部隊: 海上自衛隊 システム通信隊群 約15名(車両: 5両程度)

○実施場所: 宮古島駐屯地、宮古島分屯基地

訓練予定場所 (沖縄県)



宮古島への移動については、通信器材、車両等は貨物船を使用
人員については民間航空機を使用

訓練イメージ



海上自衛隊は、宮古駐屯地、宮古分屯基地を使用

【衛星通信装置】



石垣島で実施を検討している訓練内容

【統合通信訓練】

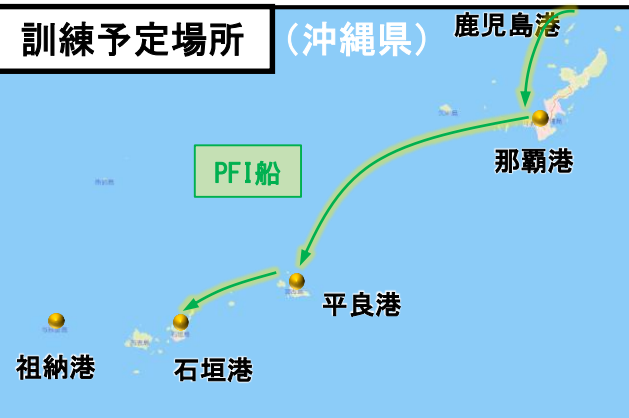
統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

本訓練のため、陸上自衛隊の通信部隊が石垣島に車両（OH多重通信装置）を展開し、通信回線を構成いたします。

- 期 間：令和7年10月24日（金）～10月28日（火） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
- 参加部隊：陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約10名（車両：5両程度）
- 実施場所：石垣駐屯地、伊野田漁港、前勢岳展望台

訓練予定場所

（沖縄県）



石垣島への移動については、通信器材、車両等はPFI船を使用
人員については民間航空機を使用

訓練イメージ



陸上自衛隊は上記3ヵ所を使用

【OH多重通信装置】



与那国島で実施を検討している訓練内容 【統合通信訓練】

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

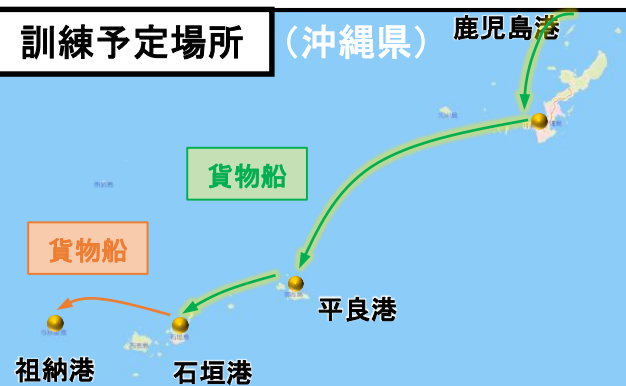
本訓練のため、陸上自衛隊の通信部隊が与那国島に展開し、通信回線を構成いたします。

○期 間：令和7年10月24日（金）～10月28日（火） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

○参加部隊：陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約10名（車両：5両程度）

○実施場所：与那国駐屯地、東崎展望台駐車場、立神岩展望台駐車場、アヤミハビル館駐車場

訓練予定場所（沖縄県）



与那国島への移動については、通信器材、
車両等は貨物船舶を使用
人員については民間航空機を使用

訓練イメージ



陸上自衛隊は上記4ヵ所を使用

【OH多重通信装置】



石垣市及び竹富町で実施を検討している訓練内容 【災害対処訓練】

自衛隊及び米軍が共同して災害対処に係る訓練を実施します。

その際、石垣港、ヘリポート等を使用し、①航空機（陸自CH-47・UH-60）及び艦艇（米軍汎用揚陸艦）を使用した避難訓練、②航空機（陸自CH-47・UH-60、米C-130）及び艦艇（米軍汎用揚陸艦）を使用した支援物資輸送訓練、③共同衛生訓練（応急医療・後送）を検討しています。

【期 間】令和7年10月26日（日）（準備と予備等も含めると約4日間）

【参加部隊】陸上自衛隊：西部方面隊第15旅団（主力は八重山警備隊、航空機はCH-47×1、UH-60×1）

米 軍：合計約60名（参加アセット：C-130、汎用揚陸艦（LCU））

訓練予定場所及びイメージ

【自衛隊CH-47】



【自衛隊UH-60】



【米C-130】



【米軍汎用揚陸艦】



- ①住民避難は、大原HP→石垣空港及び石垣港
②緊急支援物資輸送は、那覇空港→石垣空港→大原HP
那覇空港→石垣空港→住吉HP
③患者搬送は、住吉HP→石垣空港
それぞれ上記のとおり想定しております。

※ 訓練実施場所は今後の調整等により具体化



与那国町で実施を検討している訓練内容 【災害対処訓練】

自衛隊及び米軍が共同して災害対処に係る訓練を実施します。
その際、与那国駐屯地等を使用し、航空機（陸自CH-47及び米CH-53）を使用した患者後送及び燃料給油訓練を検討しています。

【期 間】 令和7年10月26日（日）（準備と予備等も含めると約4日間）

【参加部隊】 陸上自衛隊：西部方面隊第15旅団（主力は与那国沿岸監視隊、航空機はCH-47×1）

米 軍：合計約10名（参加アセット：CH-53×1～2）

訓練予定場所及びイメージ

【自衛隊CH-47】



【米CH-53】

